

「オウム真理教（アレフ）のいま」

東白石地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会 事務局長 辻 直則

平成28年7月（2016年）に白石施設ができて9年が経ちました。

現在のアレフは「団体規制法」に基づき8度目の観察処分（3年間）を受けております。麻原の二男および妻が役職員であること、新たに施設を追加したこと、預貯金・収益事業など、同法による活動報告を行わない結果、5度目の再発防止処分（6か月間）を受けております。この再発防止処分によって土地建物の所有・借用を禁止、教団施設の使用禁止（居住者を除く）、金品の贈与を受ける事の禁止など事実上活動ができない状態にあります。しかし、ウェブサイト上で「ヨーガ、心理学、メンタルヘルス等が学べる」などと宣伝し30歳以下の「地下鉄サリン事件」を知らない若い世代を勧誘しております。

麻原の二男が、2代目「グル」を自称し組織運営を主導し求心力を高めております。

私たち地域住民は少しの変化にも注目し監視し続け、安心安全な地域づくりを目指しましょう。



アレフ施設全景

特殊詐欺について

白石警察署生活安全課長 菅沼 将史

昔はオレオレ詐欺と言われ、「母さん、俺だけど…」と息子や孫を装った犯人が電話を使っただます手口が流行りましたが、今は電話だけではなく、メールやSNSを使った手口も多く認知しています。

最近、多く認知しているのが、警察官を装っただます「ニセ警察詐欺」となります。

偽物の警察官から電話が来て、「あなたの口座が犯罪に使われているので口座を調査する」等と様々な理由をつけて金銭をだまし取る手口となりますが、電話だけではなくメールやSNSを使って警察手帳や逮捕状の画像を送ってきて相手をだましてきます。

警察はSNSを使って連絡することはありませんし、警察手帳や逮捕状の画像を送ることも捜査名目で金銭を要求することはありませんので、SNSで連絡が来たり、お金を要求されたりした場合には詐欺を疑って下さい。

また、最近の犯人は「+1」、「+44」などから始まる国際電話番号を使っているため、掲載したチラシを参考に犯人からの国際電話をブロックする対策も効果的となります。

詐欺かな？この電話って本当かな？と迷ったときには、一人で悩まずにお近くの交番や警察相談ダイヤル「#9110」にご相談下さい。

地域のみなさんに知ってほしい大事なお話です

それ、詐欺かも？ ～最近増加している手口～

ニセ警察詐欺

警察官を名取り、「あなたの口座が犯罪に使われている」「あなたの携帯電話が不正に契約された」等と様々な理由をつけ、「資産を保護する」「口座を調査する」等と言って、金銭をだまし取る手口。
警察手帳や逮捕状の画像を送ってききます。

- ・警察はSNSで連絡することはありません
- ・警察は警察手帳や逮捕状などの画像を送ることはありません
- ・警察は捜査等の名目で金銭を要求しません

預貯金詐欺

市区町村職員や銀行員等を装い、「医療費の払い戻しがある」「キャッシュカードを新しくする必要があります」等の口実で自宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取る手口。

- ・警察官、金融機関職員がキャッシュカードや通帳等を預けたり、回収することはありません
- ・キャッシュカードを他人に渡さない
- ・暗証番号は覚えなさい

詐欺の犯人は国際電話番号を使って詐欺の電話をかけてきます。
被害に遭わないために、国際電話番号（+1や+44などから始まる番号）でかけてくる犯人の電話をブロック！

☆ 国際電話不取扱受付センター ☆

電話での申込み

オペレーター案内：
平日午前9時から午後5時まで
自動音声案内：
平日、土日祝24時間

Web申込み

海外からの電話を止める申込み※は簡単・無料です。 ※固定電話に限る
すぐに利用停止できるWeb申込みがおすすめです！

HP 北海道警察

編集後記

東白石通信は、まちづくりの情報紙として、平成18年に創刊号が発刊され、今回、第30号のお届けとなりました。

これまでに多くの皆様にご協力いただき、各町内会や各種団体の多彩な活動の様子をご紹介することができました。初めは、年に2～3回のお届けでしたが、平成25年からは、内容面を充実させて、年に1回の発刊といたしました。

今後も、安心安全にも配慮した住みよいまちづくりに向けて情報をお届けし、皆様とともに歩んでゆきたいと思っております。ご投稿を歓迎いたします。